

2019 - 5 - 10 発行

第151号 令和元年 5月号



便り

社会福祉法人 北友会

〒310-0903

水戸市堀町字北ノ前95番地

TEL 029-257-9555

FAX 029-257-9666

特別養護老人ホーム 渡里すずらん苑

ショートステイ・デイサービス

ケアプランセンター

http://www.watarisuzuranen.jp/ 編集者:石井 利明



# すずらん



うるわしき時代の始まり...

## おめでとう「令和元年」

「うるわしさと平和への祈り」が込められた令和時代がいよいよ幕を開けました。渡里すずらん苑入所者の皆様の中には大正生まれの方も数多く、その方々にとっては、四回目の元号となりました。幼い頃に短かった大正時代を過ごしてからは、太平洋戦争や戦後の高度成長など激動の昭和時代を生き抜き、さらにIT技術の進化により溢れる情報に追われる毎日の平成時代も体験しました。

さて、新しくスタートした令和は、どのような時代になるのでしょうか。福祉の世界では団塊の世代が全員七十五歳以上の後期高齢者となる二十五年問題がやって来ますし、これまでよりもはるかに予測が難しい未来が待っています。しかし私達は立ち止まってはいられません。ご利用者の皆様の本当に求めているものは何なのかに耳を傾けながら一歩ずつでも前進していかなければなりません。これからも私達は、皆様が「こころ豊かな毎日」をお送りいただけますよう、介護の理想像を目指して頑張つて参ります。

# 平成三十年度 各委員会報告

渡里すずらん苑では、ご利用者の皆様が、快適で生きがいのある苑生活が送れますよう、各種の委員会を設け、より良い施設運営に努めております。

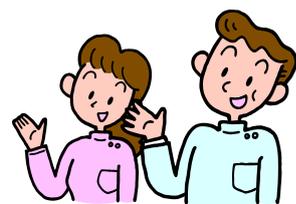
## 事故防止委員会報告

三十年度事故防止委員会では各ユニットで起った事故をピックアップし会議内で「原因」や「予防」について話し合いを行いました。前年度からの事故防止対策の取組みもあり事故件数は三割ほど減少する事ができました。令和元年度も事故が未然に防げる様に各ユニットで工夫をしながら事故防止に取り組んでまいります



## 介護技術向上委員会報告

三十年度も職員のスキルアップと、ご利用者様のケアをよりよいものにする



を対象とした新任研修や全職員対象での接遇研修などを実施いたしました。また、他施設で起った事例をもとに事例検討をおこない、自施設での対応方法などを話し合いました。今後も職員の知識と技術の向上を図り、ご利用者様が快適な生活を送れるよう努力してまいります。

## 個別ケア評価会議報告

個別ケア評価会議では、前年度に引き続き、ご利用者様一人ひとりの状況を踏まえ、その方らしい生活を送ることができるよう支援させていただくために作成する「ケアプラン」と、一日の生活リズムを把握するために作成する「二十四時間シート」に対して、現在の進捗状況や目標の達



成状況の確認、ケアプランと二十四時間シートとの連動状況及びケアを実施するに当たり、工夫している面などを定期的に確認しました。

ご利用者様の二十四時間シート作成をユニット職員が担当することにより、具体的に必要なサービスクと二十四時間シートが連動し、ご利用者様一人ひとりに合わせたケアを行っているか否か、細かい部分まで状況の確認をしていくことができています。また、支援さ



せていただく中で工夫している面を発表することで、他のユニットでも参考になる内容が発表されるなど充実した会議とすることができました。今後も「一番大切なことはご利用者様第一」であるという心を忘れずに、会議を進めてまいります。

## 生活環境委員会報告

生活環境委員会では、三十年度も毎月二回のクリーンデーを実施し、施設内・外の清掃や整理整頓をおこなないました。

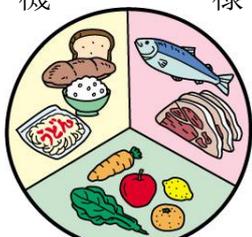


また月末の衛生チェックでは、ユニット内の衛生管理をおこない食中毒予防にも留意してまいりました。今後もお利用者様が安心、安全な生活が送れるよう配慮してまいります。



## 食生活委員会報告

食生活委員会では、ご利用者様に毎回の食事を美味しく、楽しんで召し上がって頂けるよう、毎月、食事での様子を会議内で話し合い、お一人おひとりの嗜好や嚥下機



能を考慮し、ご利用者様に合った食事を提供できるように職員で検討しています。

また、管理栄養士が中心となりユニットでの手作りおやつを

実施し、ご利用者様と一緒に

おやつを作ることで、おやつ作りの楽しみや料理時の香りなどを

感じて頂けるよう、定期的に取組みしております。



### 経管栄養・喀痰吸引管理委員会

経管栄養・喀痰吸引委員会を開催し、内部研修等にて知識・技術の向上を図り、安全かつ適切に行えるように努めました。昨年度は五名様様の胃瘻交換があり、交換のための通院など、ご

家族の協力をいただき

対応してまいりました。また

当苑入所者の中には痰がらみの方も多く口腔衛生に関しては口



腔ケアを念入りに行っています。口腔の自浄作用の低下と口腔内の乾燥が多く見られるようになりますと、自力で口腔内の清潔・健康

が維持しにくい状態になります。そのため、口腔内

細菌を繁殖させ歯肉炎や口内

炎、口腔内潰瘍など歯周疾患の発症を招き

かねません。当苑では、歯科医師による口腔ケアに関する指導・講習会を月一回開催

し、ご利用者一人ひとりに合わせた口腔ケアの助言・指導や誤嚥性肺炎の予防へ繋げるための対応

などを学び、口腔ケアを実践しております。これからもより良いケアに向け、職員の意識向上を図ってまいります。



### 感染症・褥瘡予防委員会報告

三十度は、ご利用者のインフルエンザ発症は0名でした。一方職員は1名が感染いたしました。また

には自宅待機の対応をとり、



苑内に感染が広がるのを防ぐことができませんでした。今後も油断することなく取り組んでいきたいと思えます。

褥瘡におきましては、特に発症のリスクが高い方にむけて、

生活上の注意点や栄養状態の改善などを検討

原因を除去し早期の発見と短期間で治癒できるよう

に努めています。今後も職員一同、褥瘡予防対策に取り組んでまいります。



### 衛生委員会報告

ご利用者様は、医師の指示にて定期採血、年一回の胸部レントゲン検査を行っています。職員の健康管理意識を高めることを目標に、

三十年度も職員を対象にした健康診断を年二

回行いました。今後も



体調管理に努め、心身共に万全な状態で介護サービスを行えるよう努めてまいります。

### 防災委員会報告

三十年度の活動は、避難誘導訓練(昼間二回)を実施し、中庭にて放水訓練などを行いました。また消防設備(消火器、スプリンクラー、自動火災報知設備、火災通報装置など)の機器定期点検(二回)および一回の防災設備自主点検を行いました。そして二月には昨年

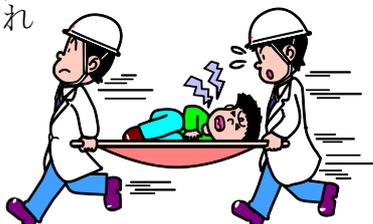
に続き、大地震を想定した「水戸市いっせい防災訓練」を実施、

ラジオ放送に合わせて頭に座布団を被つ

たり机の下に隠れたりとして、ご利用者や職員ともに

地震発生時に身を守るための訓練を実施しました。これからも、

ご利用者様に安心して生活していただけるよう、施設全体で防災への意識を高めてまいります。



おしゃべり喫茶

「夢たのし」  
デイサービスでは、  
ご利用者の皆様が自ら接客サー  
ビスをする「おしゃべり喫茶」を  
開催！三角巾とエプロン姿も大  
変チャーミング  
でいろいろと会  
話も弾みました



「夢たのし」開店準備は完了！  
あとはお客様待ちです



お客さんとの会話も弾み笑顔の  
接客！心も体も若返りました。



\*「寄付」\*  
亀山正己様  
\*ご寄贈(鯉のぼり)\*  
益子賢次様  
ありがとうございました

五月の予定

祝令和

ふれあい渡里太鼓

- ◎ 音楽療法
- ◎ 理学療法
- ◎ 書道教室
- ◎ 唱歌クラブ
- ◎ 紙芝居
- ◎ 手作りおやつ
- ◎ お買物ドライブ
- ◎ 防災訓練



滝水に

漱ぎてけふの

いのちあり

木村 蕪城

すずらん苑は春爛漫

渡里すずらん苑の庭畑には菜の花が、そして中庭には桃の花が満開です。すべての生命が光り輝くうれしい季節です。  
(四月十八日)



春を体で感じて…外出ドライブ

いよいよ春本番！花見に食事にお買物。皆で行けばなお楽し。



お花の後は、回転寿司やお買い物も楽しみました…水戸市植物園  
(4月17日 デイサービス)



八重桜を見物しながらの御弁当は美味でした…静峰ふるさと公園  
(4月19日 すみれ・ゆりユニット)



より良い介護へ…新任職員研修

渡里すずらん苑の理念から介護・看護の連携、そしてユニットケアの留意点など、基本から勉強しました。  
(四月二十三日)



とろみ食材の体験



非常発電機の実験

夏は来ぬ

作詞 佐々木信綱  
作曲 小山作之助



卯の花の 匂う垣根に  
時鳥 早もきなきて  
忍音もらす 夏は来ぬ

五月雨の そそぐ山田に  
早乙女が 裳裾ぬらして  
玉苗ううる 夏は来ぬ

橘の かおるのきばの  
窓近く 蛍とびかい  
おこたり諫むる 夏は来ぬ

棟ちる 川辺の宿の  
門遠く 水鶏声して  
夕月すすしき 夏は来ぬ

